

## 「社会福祉法人における試算表・予算書を活用した経営管理について」

### 1 9月試算表の重要性

令和3年度も6ヶ月を経過し、折り返しを迎えます。10月中下旬にはお手元に9月試算表が上がってくることでしょう。

9月試算表は半期実績をまとめたものですから、年間着地が読み取れる貴重な資料です。

このタイミングで「前半の回顧を踏まえて、後半の経営に見直しをかける」ことは、組織経営において極めて重要です(12月試算表は、更に精緻な年度着地予測ができますが、残された期間も限られています)。

### 2 予算書・前年9月試算表との比較

本日は、基本となる予算書との比較及び前年9月試算表との比較をご説明します。

なお、予算立てにおいて、①収入は園児の月別推移シミュレーションに基づいた合理的な試算であること、②経費は前年実績をベースに次年度の変動要因を加味した数値としていること、が前提となります。

#### (1) 収入の比較

収入については予算書との比較が重要です。計画した園児推移を大きく下回っているのが明らかであれば、危機感を持って園児確保に取り組むことが肝要です。次年度の園児確保にも繋がると考えてアクションを起こすべきです。新型コロナの影響や地域要因で園児確保が難しい園であれば、収入増に直結する新たな加算や補助金も検討してください。

#### (2) 経費の比較

予算書及び前年同月実績と比較して、支出超過傾向にある科目があれば可能な範囲で抑制に動く。そして、年度着地が十分予測可能となったタイミングで必要なものを購入するといった動きも大切です。

### 3 経営管理の必要性

そもそも、予算書は委託費(or 施設型給付費)、補助金等の公費を園児・職員のために年度内に使い切るという観点で作成されていますが、せつかく手間暇かけるなら、経営管理に役立つ予算書に仕上げたいものです。

(独)福祉医療機構のResearch Report「2019年度保育所及び認定こども園の経営状況について」によると、2019年度の赤字施設の割合は、保育所 21.6%、認定こども園 13.3% となっています。

新型コロナの影響により少子化の加速が予期される状況であり、2021年度は赤字施設の割合が更に上昇すると推測されます。

このような状況下、園が「選ばれる園」となり生き残るために、今まで以上の経営努力が必要と存じます。

弊社コンサルティング部では随時のご相談を受け付けております。遠慮なくお問い合わせください。

チャイルドグループ (株)幼保経営サービス コンサルティング部  
マネージャー 宮地 竜巳

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

お問合せ <https://www.ans.co.jp/youho/postmail/index.html>